

明倫彙編
家範典
律例
上

第
一
架
號

大日本教育會編
第四室
二册
三架
四號

特39
796

川澄下枝纂

讀律必携

東京 千鍾房發兌

特39

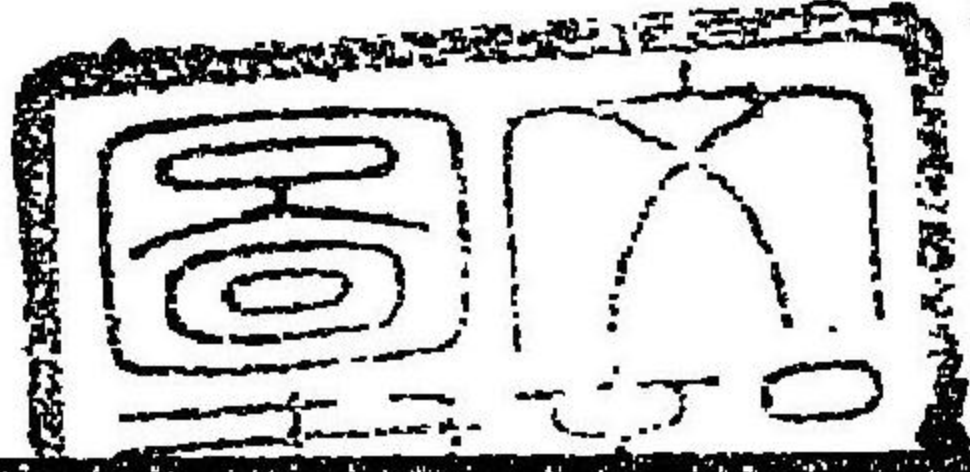
795

讀律必携引

我邦六百年無律今忽有之焉加之以律語之別裁律文之簡嚴人不遽易讀會得川澄氏之解讀之律意擿發而無餘蘊者在焉卷末之疑獻數則為悅目舉之邪抑亦定爰書者之警戒也然未備者為無之或使余補之是真無罪人之桎梏也題曰必携豈大方之必携乎唯童蒙之必携而已童蒙豈亦求我乎我求童蒙而已

補閱者 識

讀律必携



讀律必携引

我邦六百年無律今忽有之焉加之以律語之
別裁律文之簡嚴人不遽易讀會得川澄氏之
解讀之律意摘發而無餘蘊者在焉卷末之疑
識數則為悅目舉之邪抑亦定爰書者之警戒
也然未備者為無之或使余補之是真無罪人
之桎梏也題曰必携豈大方之必携乎唯童蒙
之必携而已童蒙豈亦求我乎我求童蒙而已

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

補閱者 識

理之所必無安
知非情之所或
有又識
桂洲生書

桂洲生書



讀律携例言

一此書ハ兒童律例ヲ講讀スルノ際考索スル
ル片ニ供セントナリ
一義原ト各條ニ散出し、自ラ繁簡アリ、今併
セ收ム蓋シ、其義理ヲ廣メント欲スレハナ
リ、而メ又云ノ二字ヲ以テ區別シ、所出ヲ舉
ホルモノハ、簡ニ從フナリ
一訓詁ノ部ハ、新律綱領ヲ始メ、海陸軍刑律ニ
至ルマデ、其本書ニ施セル傍訓ヲ摘抄シ、真

字ヲ其下ニ填ツ、纖微ノ片假名ハ漫滅シ易ケレバナリ

一其傍訓アルヲ悉ク收ムレド、全ク同語同訓ニ係ル者ハ前ニ舉ケ後ハ略ス、事主監臨ノ類是ナリ

一本律ニ施ス所ノ傍訓ハ、多ク俗語ヲ用ヒタリ、蓋シ通俗ヲ以テ主ト為シ、兼テ其義ヲ解スルナリ、故ニ今真字ヲ填ルニ於ケル古書所用ノ真名及ビ新撰字鏡倭名鈔等ノ字例

ヲ襲フヲ得ズ、蓋シ俗語ハ、自ラ音韻ノ清濁ニ由テ、而メ善ク通ズ、如シ雅言音便韻轉ノ例ヲ概用スレバ、及テ俗語ノ真面目ヲ寫ス、一能ハズ、乃チ今參酌シテ填下ス、決放ノ如キ、當ニ填ルニ、之於歧須美ヲ以テスベシ、而メ之於歧須美ト云フガ如キ是ナリ、識者幸ニ錯襟ヲ責ル勿レ

一凡ソ真名ヲ下スハ、音ヲ用ユルヲ正トス、而メ今音訓ヲ交用スル者ハ、亦見易キヲ要ス

明治六年癸酉七月

讀律必携目錄

- 一 讀律ノ大旨
- 一 字義
- 一 訓詁
- 一 刑官廢置
- 一 律書并罰則類頒布
- 一 禁刑日
- 一 大赦
- 一 律例禁令等大概

一 御布達書番跡見出シ

一金穀貸借訴訟

一身代限法

一 證券印紙

一 訴訟入費

一 贖金上納方

一 科料金同斷

一 贓物估計

一 紀事

一 上納金并囚人宿泊

一 入牢入費

一 脱籍ノ徒復籍方

律書

律書 必考

律書 律大旨

川澄下枝 纂
近藤圭造 閱

聞久律ヲ讀ムニハ、八字ニ眼ヲ着ケテハ
 レバ誤解スルコト多シト、物茂卿モ總ジテ律
 ヲバ、八字トイフモノニテ、トリサバク、二
 テ、常ノ文章ノ如ク、輕キ助語トハ見ヌ、ナ
 リト云ヘリ、八字トハ、以准同、凡皆各其及、即
 若ノ八字ナリ、字義ノ部ニ詳ニス

一律ヲ讀ムニ熟字等ニ出遇フ氏必ズ常ノ熟
 語ノ如ク看過サヌトナリ古ヘ明法博士ハ
 四道儒者ノ其一ニ居ルト以アルナリ律ハ
 一科ノ學問ニテ其見方大切ナルモノナレ
 バ一字一句モ繰返シ味ヘザレバ大ナル過
 チヲ生ズルナリ故ニ辭ヲ多クシ助字ヲ少
 キタル浮華ナル史記漢書等ヲ見狎レタル
 目ハ勿論假令文法助字氏ニ正確緻密ナル
 論語左傳等ヲ見タル氏律ノ字句ニ至リテ

ハ律ハ自ラ律ノ詞アルモノニテ餘ノ文章
 句法ノ例ニハ云フマテモナクアツカラヌ
 一ナレバ注意肝要ナリ古人論孟左莊ヲ以
 テ文法ノ四大正書ト為スモ蓋シ如何何如
 等ノ助字ハ勿論ノトニテ一句中ニモ孟左
 ニハ父子父子又左ニハ季梁在國士在宮之
 奇存焉ノ在存及ビ一章内ニ宵夜ノ二字ヲ
 書分ケ又論語ノ汝得人焉耳乎哉ハ源實朝
 が歌ノ世ノ中ハ常ニモガモナトハ素ヨリ

義ハ異ナリト雖モ其字法ノ彷彿タル助字益多クシテ贅ナラズ益有リテ意味彌深暢ナルガ如キヲ以テノ故ナルヘシ是レ其枝葉ノ一二ニシテ又法律ノ一ニハ關ラヌナレド、古人屬辭ノ精細ナル其苟モセザル推知スベシ況ヤ人命ニ關スル律ニ於ルヤ、熟讀ヲ要セザルベカラハルナリ

一又通編ヲ暗誦スルヲ要スルハ、勿論ナレド、一律ニ拘リテ考ル勿レ、必ズ前後ヲ照合ス

ベシ、是レ其一律一條ノミニテハ、足ラヌト云フニハ非ズ、蓋シソレニノミ拘泥スレバ、准擬ニ差錯ヲ生スレバナリ

字義 清律等ヲモ併ス明
八字 義ヲ例ツ條ノ

以
清律ニ以テハ、實犯ト同シ、監守官物ヲ貿易スルハ、實盜ニ異ナルヲ無シ、故ニ枉法ヲ以テ論

盜ヲ以テ論ジ并ニ除名刺字シテ罪絞斬ニ至ルモ并ニ全科スルガ如キヲ謂フ
同附釋ニ以テハ真犯ニ非ナルナリ真犯ニ非ズシテ而メ情真犯ト同シ真犯ノ罪ノ如ク之ヲ罪ス故ニ以テ云フ

准

清律ニ雜トハ實犯ト間アリ枉法ニ准シ盜ニ准ジテ論ズルガ如キヲ云フ但其罪ニ准ジ除名刺字ノ例ニ非ズ罪杖一百流三千里ニ止マ

ル作綱領多ク準ニ

附釋ニ准トハ真犯ト間アリ此ヲ以テ彼ニ准ズルナリ犯ス所ノ情事ト同シカラズシテ實ニ相涉レバ算シテ前項ト為ス犯ストコロ惟其罪ニ合ヒ概シテ其實ノ如クニセズ故ニ准ト云フ

皆

清律ニ皆トハ首從ヲ分タズ一等ニ罪ヲ科ス監臨主守ノ職役同情シテ監守スル所ノ官物

ヲ盗メバ賊ヲ併セ數ニ滿テ皆斬ルガ如キノ
類ヲ云フ
附釋ニ皆トハ概ナリ、齊ウシテ之ヲ一ニシ分
別フルヲ無キナリ、分別ヲ行ハズ、惟其罪ヲ概
シテ之ヲ同クス、故ニ皆ト云フ
註ニ、凡ソ律條内ニ、間皆ノ字アル者ハ、罪ノ輕
重人ノ多寡ヲ問ハズ、即チ首從ヲ分タズ、一
ニ之ニ坐ス、又云久皆トハ、罪ニ首從ナク犯一
事ニ同フス、罪輕重ナキナリ

各

清律ニ、格トハ、彼此同ク此罪ニ科ス、諸色ノ人
匠内府ノ工作ニ撥赴センニ、若シ躬親ヲ役ニ
應ゼズ人ヲ雇ヒ名ヲ冒シ、私ニ自ラ代替シ、及
ヒ替ルノ人ハ、各杖一百ノ類ノ如キヲ云フ、各
ニニ義アリ、横各ト云フモノアリ、彼此同ク此
罪ニ科スルノ類是ナリ、直各ト云フモノアリ
下ニ謂フ尊長謀殺ノ類ノ如キ是ナリ、此句尚
ホ未カ各字ノ義ヲ盡サズ、尊長謀殺スルニ、已

ニ行フ者ハ各故殺ノ罪ニ依リ、二等ヲ減ズ、此
 各ノ字ハ、則チ又服制ヲ分別シ、各人ニ各尊長
 各卑幼ヲ故殺スルノ罪ニ照シ、各二等ヲ減ズ
 ルナリ
 附釋ニ、各トハ、各其類ニ從ヒ、義ヲ別ニ取ルナ
 リ、萬類齊シカラズ、流品各別アリ、類ヲ比シテ
 而メ觀レバ、實ニ同一致故ニ各ノ字ヲ用ヒ、以
 テ之ヲ別ツ
 其

清律ニ、其トハ、先ニ變スル意ナリ、ハ議ノ罪犯
 ヲ論ズルニハ、先奏請議ス、其十ヲ犯スハ、此
 律ヲ用ヒハルノ類ノ如キヲ云フ
 附釋ニ、其トハ、端ヲ更ムルノ詞ナリ、上文ヲ承
 ケ、カ為メニ、端ヲ更メ、而メ本條未カ盡サハ
 ル所ヲ竟フレバ、則チ其ノ字ヲ用ヒ、以テ之ヲ
 發揮ス
 及
 清律ニ、及トハ、事情後ニ連ナル、彼此俱ニ罪マ

ルノ賊及ビ應禁ノ物ハ則チ没官スルノ類ノ如キヲ云フ

附釋ニ及トハ推シテ而メ之ニ及ボスナリ凡ソ入ト事ト各同シカラホル有リ而ノ罪分別スル事無キ者ニ係レバ則チ皆及ノ字ヲ以テ之ヲ聯屬ス

即

清律ニ、即トハ意盡テ而メ復タ明カニス罪ヲ犯シ、事發シ、逃ニ在ル者衆證明白ナレバ、即チ

獄ノ成ルニ同じノ類ノ如キヲ云フ
附釋ニ、即トハ、顯明ニシ見易カラシメ、再計ヲ俟タザルノ義ナリ

若

清律ニ、若トハ、文殊ナリト雖モ、然レ上ノ意ニ會ス罪ヲ犯ス中、未ダ老疾セズ、事發スル所老疾スレハ、老疾ヲ以テ論ズ、若シ徒ノ年限中ニ在リ、老疾スル者モ、亦之ノ如シノ類ノ如キヲ云フ

附釋三、若トハ、亦端ヲ更ムルノ詞ナリ、乃チ設
為テ、以テ其義ヲ廣ム、意上文ニ會スト雖モ、然
レ氏事變窮リ無シ、端ヲ更メ、以テ之ヲ推廣以
類ヲ連テ、以テ之ヲ引伸セント欲スレバ、則チ
設為テ、以テ其意ヲ竟ヘサルヲ得ズ、故ニ若ト
云フ

名例

清律三、名トハ、五刑ノ罪名ナリ、例トハ、五刑ノ
體例ナリ、又云久名例ハ、諸律ノ凡例ナリ、又云

久名例ハ、全例ノ綱タリ

本條 正條

同律ニ、名例ハ、諸律ノ凡例ナリ、本條ハ、斷罪ノ
正法ナリ、律文ハ、簡要ニシテ重述スルヲ欲セ
ズ、凡ソ本條ニ缺クル一有リテ載セサル者ハ
皆名例ニ統フルナリ、然レ氏輕重ノ間ニ權衡
有リ、名例ノ例ヲ變ジテ而ノ自ラ罪名アル者
ハ、則チ又名例ニ拘ハラズ、故ニ本條名例ト同
シカラサル者アレバ、自ラ本條ニ依テ科斷ス

按ニ、名例ハ綱領ニテ、餘ノ各本條ハ節目ナリ、凡ソ律條内ニ、本條ト云フハ、直ニ其場所ヲ指スニ非ズ、各律ノ各條ヲ云フナリ、正條トハ、清律ニ、法制限リ有リ、情變窮リ無ク、犯ス所ノ罪、正律ノ引クベキ者ナケレバ云々ト云ヘル義ニテ、罪移ニ各律ヲ引合セ、當テ、見ルニモ及バズ、其罪ニスクニヒタト間ニ合フ律條ヲ、正條ト云フナリ

答

清律ニ、笞ハ、擊ツナリ、又耻ト誅スルナリ、小板ヲ用フ

同律ニ、杖ハ、笞ヨリ重シ、大竹板ヲ用フ

同律ニ、徒ハ、奴ナリ、蓋シ之ヲ奴辱スルナリ

同律ニ、流ハ、刑殺スルニ忍ビズ、之ヲ遠方ニ流スナリ

謀反

同律ニ、社稷ヲ危フセント謀ルヲ謂フ及ハクツガヘスナリ

謀逆

同律ニ、宗廟山陵及ビ宮闕ヲ毀タント謀ルヲ云フ

謀叛

同律ニ、叛トハ背クナリ或ハ城ヲ翻ヘシ偽國ニ投ゼント欲シ或ハ衆ヲ率テ外奔セント欲

スルナリ

惡逆

同律ニ、人倫ヲ蔑絶シ天性ヲ傷殘シ惡ヲ逞クシ逆ヲ肆ニス故ニ惡逆ト云フ

不道

同律ニ、兇忍殘賊皆正道ヲ棄ツ故ニ不道ト云フ

按ニ、不道ハ正道ヲ行ハヌナリ無道ハ正道ヲ無キモノトスルナリ

不義 義絶

同律ニ、不義トハ、夫婦ハ原ト天合ニ非ズ、義ヲ以テ相維カナリ、義ニ背イテ、而メ行ス、故ニ不義ト云フ

同律ニ、義絶トハ、夫婦ノ恩情禮意乖離違碍シ、其義已ニ絶ルナリ、又云ク、夫婦ノ倫ハ、之ヲ聯クニ思ヲ以テシ、之ヲ合スルニ義ヲ以テシ、之ヲ持スルニ禮ヲ以テス

内亂

同律ニ、禽獸ノ行ヒアリ、家ニ朋黨シ、禮經ヲ紊亂ス、故ニ内亂ト云フ

公罪 失錯

同律ニ、凡ソ一應私已ニ係ラズシテ、而メ公事ニ因テ罪ヲ得ル者ヲ公罪ト云フ、又云ク、公罪トハ、罪ヲ得ルテ失錯ニ由リ、事ニ在テ罪アリ、已レニ於テ私ナク心ナク過誤シテ、覺察ニ失スル者皆是ナリ、總テ其罪ヲ原ルニ、公ケニ由ルナリ、又云ク、凡ソ私已ニ係ラズ、公ケニ因テ

罪ヲ得及ビ過失錯誤無心ニ出ル者ヲ皆公罪ト為ス又云ク同僚公罪ヲ犯ストハ同僚官吏文案ニ連署シ公事ヲ判断シテ差錯シ而メ私曲ナキ者又云ク公罪ハ乃チ無心ノ過チ私スル所アルニ非ザルナリ又云ク公事ニ縁テ罪ヲ致セド私曲ナキモノ

物茂卿云ク公罪ハ公邊ノ下ノ上ニテ帳面ノ附ケ落シ印ノ押シ落シ回狀ノ觸レソコトヒナド心ツカズ油断シ或ハトリハツシ

仕ソコナヒ間違ヒノ類ナリ失錯トハ文書ニ印ヲ押シ落シ官吏ノ姓名ヲ書違ヘタル等ナリ

私罪

同律ニ凡ソ公事ニ因ラス已レ自ラ犯ス所ヲ皆私罪ト為ス又云ク私罪トハ罪ヲ得ル下私意ヨリ出テ心有テ故犯シ公ケニ因リ事ヲ錯ルニ非ハルヲ云フ即チ公事ニ因リ已レ實ニ私アル者皆是ナリ又云ク其罪已レノ造ス

ニ由リ、公ニ因テ得ルナラズ、及び公事ニ属ス
 ト雖、モ意私已ニ出ル者ヲ、皆私罪ト為ス
 同律ニ、檢査官員縁事公ニ因リ私ニ因ルノ別
 アリ、而メ公ニ因ル者モ、必シモ盡ク公罪ニ属
 セズ、私ニ因ル者モ、亦必シモ盡ク私罪ニ属セ
 ズ、即チ属員ヲ稽察スルガ如キ、本ト公事ニ係
 リテ、而メ徇庇貪劣ナレバ、則チ公罪ニ非ズ、子
 弟家人事ヲ滋スハ、私罪ニ属スルニ係レドモ、
 咎止ハ、察ニ失スレバ、即チ私罪ニ非ズ、嗣後凡

ソ公事中、情ヲ知テ、徇飾スル者ニ係レバ、即チ
 私罪ト為ス、其私罪中止ハ、覺察ニ失スル者ニ
 係レハ、亦公罪ヲ以テ處分ス嘉慶五年例
 茂卿云ク、私罪トハ、心ヨリナシタル罪ナリ
 占悞
 同律ニ、占悞ハ、護庇ノ謂ヒナリ
 占悞トハ、カクマフナリ、罪人ヲ召捕ルニ
 其宿主惜テ、ワタサヌナリ
 會赦 遇赦

賣身公事

三

同律ニ會救猶流トハ猶水遇救不宥ト爾云フ
 ト云フガゴトレ
 コレハ流人大救ニ會フモ猶水流スト云フ
 ハヤハリ救ニ遇フトモ宥メズト云フガ如
 シト云ヘルナリ會ハテアヒガシラニアフ
 ナリ遇ハフトテクハスナリ何レモ御救
 免ノ時ニ出クハスナリ故ニマタ遇例ト云
 フ
 家口 人口

同律ニ家口ト稱スルハ父祖妻妾子孫ナリ人
 口ト稱スルハ止メ妻妾子孫ナリ
 家小 妻小
 同律ニ家小ト稱スルハ止メ妻妾ナリ妻小ト
 稱スルハ止メ妻ナリ
 廢疾 篤疾 殘疾
 同律ニ廢疾トハ或ハ一手ヲ折リ或ハ一足ヲ
 折リ或ハ腰脊ヲ折リ及ビ侏儒聾啞癡呆瘋患
 脚癩類ナリ篤疾トハ或ハ兩目ヲ瞎シ或ハ

兩肢ヲ折リ、人ノ二事ヲ損シ、如クハ一目ヲ瞎シ、又一支ヲ折リ、及ビ顛狂癱癩ノ類ナリ、又云ク、殘疾トハ、不全ノ謂ヒナリ、手ノ一指ヲ折ルガ如キ、尚ホ能ク物ヲ持タズ、但虧損ニ完カラザルナリ、廢疾トハ、無用ノ謂ヒナリ、一手指ニ折ル、ガ如キ、全ク物ヲ持スル不能ハナルナリ

廢篤疾ノ別ハ新律鬪毆條ニ出ツ、廢廢ノ字并ニ字書ニ見ヘテ、廢ハ通ジテ、廢ニ作レド

律書其外左傳等ニモ、廢疾ノ片ハ廢ノ字ヲ用ヒ、廢棄廢類等ニハ、廢ヲ用ヒシ本モアレバ、人或ハ強チニ廢ハ廢ノ誤字ト為スモノハ、抑レリ、相通用スベシ

肢體

同律ニ、手足之ヲ肢ト謂ヒ、腰項之ヲ體ト謂フ折傷以上

同律ニ、凡ソ他律ニ、折傷以上ト稱スル者ハ、一齒一指以上ヲ折ルヨリ、篤疾ニ至ル皆是ナリ

眇折跌

同律ニ、眇ハ其明ヲ虧損シ、尤モ善ク物ヲ見ルベキヲ謂フ折トハ其骨ヲ断折スルナリ、跌トハ、關節ヲ差失シテ聯属常ノ如クナラハラシムルナリ

故殺

同律ニ、臨時ニ意有テ殺サント欲スルハ、人ノ知ル所ニ非ホルヲ故ト云フ、又云ク夫レ臨時ト云ヘバ、則チ預謀ナキヲ知ルベシ人ノ知ル

所ニ非ズト云ヘバ、則チ同謀スルモノナキヲ知ルヘシ、其意ヲ起スル臨時ニ在リ、故ニ下手ノ人知ルニ及バズ、何ノ從カ之レ有シ、若シ從タル者有テ之ニ告ガ隨從シテ殺セバ、則チ是レ謀殺ニシテ、故殺ニ非ズ、或ハ鬪毆ノ人、相毆ツノ時ニ當リ、忽然之ヲ殺スニ意アリ、固ヨリ人ノ知ルヲ無キ筈ナリ、即チ是レ臨時ニ獨リ心ニ謀ルナリ

謀殺

同律ニ或ハ諸ヲ心ニ謀リ或ハ諸ヲ人ニ謀ル
又云久先ヅ人ヲ殺スノ計ヲ設ケ後ニ人ヲ殺
スノ事ヲ行フ之ヲ謀殺ト謂フ

冒認 侵佔

同律ニ冒認トハ他人ノ田宅ヲ妄冒シ認テ已
レガ業ト為シ業主ノ在ラハルヲ欺イテ之ヲ
冒認スルヲ謂フ又云久原ト已レノ物ニ非ス
而メ他人ノ物ヲ冒妄シ認テ已レノ有ト為ス
ヲ冒認ト云ス侵佔トハ彼此ノ田宅相連ナル

ニ因テ界限ヲ侵越シ占テ已レノ業ト為スヲ
謂フ

物茂卿云久冒認ハ已レノ田地ナリト偽ル
ナリ強占ハムタイニ我物ニスルナリ

枉徵 枉免

同律ニ災傷有テ當ニ免スベクシテ徵スルヲ
枉徵ト云ヒ災傷ナク當ニ徵スベクシテ免ス
ヲ枉免ト云フ

恐嚇 詐欺

同律ニ、恐嚇シテ取ルトハ、其人恐嚇ノ勢ニ依
レ、奈ントモスルヲナクシテ、而メ之ニ與フル
ナリ、詐欺シテ取ルトハ、計ヲ設ケ、以テ人ノ知
ラハルヲ罔シテ、其人自ラ之ニ與フルナリ

誑賺 局騙 拐帶

同律ニ、誑トハ、哄ナリ、賺トハ、物ヲ得テ還ヘサ
ルノ稱ナリ、巧言哄誘シ、因テ人ノ財ヲ取リ、
而メ還ヘサバルヲ誑賺ト云フ、局ハ、猶ホ圈套
ノゴトキナリ、装成圈套シテ、人ヲシテ自ラ其

中ニ入りテ、而メ之ニ與ヘハルヲ得ホラシム
ルヲ局騙ト云フ、事ニ因リ便ニ遇ヒテ、人ノ財
物ヲ携ヘ取ルヲ、拐帶ト云フ

登時

同律ニ、事項刺ニ在リ、勢倉卒ニ出ヅ之ヲ登時
ト云フ

格殺

同律ニ、抵格シテ而メ殺ス之ヲ格殺ト云フ

入官 還官

同律ニ、官ニ入ル、ト、官ニ還スト同シカラズ、
官ニ入ル、トハ、本ト私物ニ係ルヲ追收シテ
官ニ入ル、ナリ、官ニ還ストハ、原ト是レ官物
ナレハ、追徴シテ官ニ還スナリ

コレハ、贓物ヲ取立取上ルニ云フナリ

正贓 計贓

同律ニ、正贓トハ、原贓ナリ、又云久正贓トハ、原
得ノ贓物ヲ云フナリ

正贓トハ、犯人其時ニ手ニ入レタル不正品、

今モ其マ、ニテ正味ニテアルナリ、計贓ト
ハ、費フマビキモノヲツカヘバ、贓ニ算用ス
ル類ナリ

逃叛

同律ニ、逃ハ、是レ已ニ本境ヲ去リ、潜カニ別地
ニ避ルナリ、叛トハ、則チ本國ヲ離去シテ、已ニ
他所ニ至ルナリ

自首 告言

同律ニ、自首トハ、已レノ身犯ス所ノ罪ヲ將テ、

自ラ詞ヲ具狀シ、而メ官ニ首告スルナリ、相告
言ストハ、互ニ相許發スルナリ、狀モテ首スル
ヲ告ト云ヒ、口モテ訴ルヲ言ト云フ

物茂卿云久自首ハ手前ヨリ其惡事ヲシタ
ルヲ官府ヘ申出ルナリ、告言トハ、訴人ス
ルナリ

今按ニ、許ハアバクナリ人ノハラヲマクル
ナリ、告トハ、イヒツケグチスルナリ、言トハ
存寄ヲ云フナリ

首還 首服

同律ニ、或ハ強盜或ハ竊盜或ハ詐欺シテ財ヲ
取ルハ、皆事主ノ自ラ與フル所ニ非サルナリ、
故ニ、首還トハ、則チ事主ノ所ニ才升テ首服ス
ルヲ云フナリ、首トハ、自ラ強竊詐欺ノ情ヲ言
ヒ、服トハ、過チテ謝シ罪ヲ請フノ意ナリ、或ハ
枉法或ハ不枉法皆本主和同シテ、自ラ與フル
ニ係ルナリ、故ニ首還トハ、則チ過チテ悔ヒ回
付シ、主ニ還スヲ云フ、自己ノ過チテ悔ヒテ他

人ノ物ヲ還スナリ

首還ハ、ワビテ返スナリ、首服ハワビ入ルナ

リ

私度越度

同律ニ、關ヲ私度越度ストハ、文引ナクシテ潜

ニ過クルヲ私ト云ヒ、門ニ由ラスレテ他ニ出

ルヲ越ト云フ

文引トハ、關所手形ナリ、所謂過所ナリ越

ハ、今ノ俗語ト異ナリ

物茂卿云ク、私度ハ無切手ニテ通ルナリ越
度ハ、ワキミチヨリ通ルナリ

遞減 累減

同律ニ、遞トハ、挨次ノ謂ヒナリ、各其類ヲ分チ

其序ヲ遞次シテ、各相遞減スルナリ、累減トハ

減ジテ而メ復タ減スルナリ、又云ク、層累シテ

而メ之ヲ減スルヲ得ルナリ

挨ハ、俗ニ云フラスナリ、挨次ハ、カシク

アトサキヘズラスナリ、遞減ハ、長官次官判

官主典ノ四等官ノ役ノ上ニテノナリ、累減ハ罪科ノ輕重ノ上ニテノナリ

首從 造意 共謀 知情

同律ニ造意ヲ首ト為シ、隨從ヲ從ト為ス、造意トハ、事ヲ首メ謀ヲ設ケ罪ヲ犯スノ意、皆其造リ作スニ由ル者ヲ云フナリ、又云ク、意ハ是レ謀ノ主ナリ、造意ハ共謀ノ先ニ在リ、衆人尚ホ未ダ謀ルコト有ラズ、獨リ先ヅ此意ヲ造リ出ダス、故ニ之ヲ造意ト云フ、而メ共謀ハ則チ相與

ニ竊計スル者ノ共謀ハ又知情ト同シカラズ、共謀ハ是レ共ニ相圖謀スルナリ、知情ハ是レ但其事ヲ聞知スルナリ、知情者ハ身事外ニ在リ、共謀者ハ身事中ニ在リ、又云ク先ヅ盜ヲ為スノ意ヲ發シ、上盜ノ法ヲ造作シ、指揮調度悉ク主張ニ出ツルヲ、之ヲ造意ト謂フ、同ク盜ヲ為スノ心有テ、共ニ上盜ノ策ヲ畫リ、計較商量シテ、其事ヲ與謀スルヲ、之ヲ共謀ト謂フ、又云ク共謀ハ造意ニ次グ隨從トハ、同惡相濟シ、

造意ノ指揮ニ聽從シ、之ニ隨テカラ用ユル者
ヲ謂フナリ、又云ク、造意トハ、區畫シテ計ヲ定
ムルノ人ナリ、從ハ、造意者ノ指使ニ隨順スル
トヲ為スナリ

造意ハ其惡事ヲ巧ニ出シタル發起人ナリ、
隨從ハ、其發頭人ニ附キ從フテ、手傳ヒヲセ
シモノナリ

加功 下手

同律ニ、加功トハ、助力シテ、手ヲ下スノ人ナリ

加功ハ、スケダチシテ、與カスルナリ、下手致
命ハ、手ニカケテ、殺シタル人ノトナリ

通同 扶同

同律ニ、通トハ、彼此相通ズルナリ、扶トハ、彼此
扶合スルナリ、監守提調ト啣合シテ、弊ヲ作セ
バ、則チ通同ト云ヒ、委官私ニ徇ヒ、監守虚出ス
ルノ數ニ照シテ、申報スレバ、則チ扶同ト云フ、
又云ク、扶同聽行トハ、吏有事ノ財ヲ受ケ、因テ
本官ニ扶同シテ、枉法ノ事ヲ聽行シ、諫阻スル

一ヲ為サバハルヲ謂フナリ

待對

同律ニ罪ヲ犯シ、官ニ在テ、未ダ曾テ審問セザル、之ヲ待對ト為ス

加等 減等

同律ニ加トハ、本罪上ニ就テ加等ス、増ノ之ヲ重クスルナリ、減トハ、本罪上ニ就テ減等ス、損ノ之ヲ輕クスルナリ

同罪 罪同

同律ニ、律内又罪同シト云フモノアリ、同罪ト

語意同シキニ似テ、實ハ異ナリ、同罪トハ、此レ

ノ犯ス所ヲ、即チ彼レノ罪名ニ照シテ、之ヲ科

シテ罪ヲ犯スノ因ハ、則チ異ナルナリ、罪同ト

ハ、其過惡ヲ推スニ、情與ニ相類シ、其輕重ヲ權

ルニ、實ニ與ニ相等キラ謂フ、其罪既ニ同ジ、必

シモ更ニ論ゼズ、故ニ罪同ト稱スル者ハ、死ニ

至ルモ減等セザルナリ

與同罪トハ、本皆罪ナキノ人、人ニ因テ連累ス

ル者ナリ、蓋シ准ト稱スルハ、即チ與同罪ノ義
ナリ、以ト稱スルハ、即チ與罪同ノ義ナリ、同罪
ニ科スル者ハ、必ず與同罪ト云フ、人ノ罪ニ因
テ、而メ之ヲ罪スルナリ、罪同ニ科スル者ハ、但
罪同ト云フ罪ノ同シキニ因テ、而メ之ニ同フ
スルナリ、其義自ラ異ナリ、又罪亦如之ト稱ス
ル者アリ、乃チ前項ニ論定スルノ罪ニ、蒙ラセ
テ、而メ言フナリ、犯ス所ノ罪ニ、彼此ノ異ナル
アリト雖モ、而レ氏輕重ノ間テナケレバ、則チ

死ニ至ルモ、皆同シキヲ謂フ、猶ホ罪同ノ義ノ
ゴトキナリ
連累ハ、マキゾヘナリ、如之ハ、カクノ如キナ
リ、前項ノ項ハ、モト、エリクビノ一ニテ、様マ
タ等ト云フガ如シ、前項ハ、俗ニ云フ前條前
段ナリ
此條ハ、新律名例ノ下、稱同罪ノ條ヲ併見ス
バシ
搶奪 強劫

同律三人ノ不意ニ出テ、而メ之ヲ攫ルヲ搶
ト曰ヒ、カヲ用ヒ互ニ爭フテ、而メ之ヲ得ルヲ
奪ト曰フ、搶奪ハ、人少フシテ、而メ兇器ナキナ
リ、強ヒテ取ルヲ劫ト曰フ、強劫ハ、人多クシテ
兇器アルナリ

按ニ、人ノ多少云々ハ、其率ヲ云フノミ、必シ
モ拘ハラズ

強盜 竊盜

強盜ハ、本朝古律及ビ吏學指南等ニモ、威若ク

ハカヲ以テシテ、其財ヲ取ルヲ謂フ、竊盜モ、形
ヲ潜メ、面ヲ隠シテ取ルヲ謂フト、清律ニモ、人
ノ知ラサル所ニ乘ジテ、而メ暗ニ之ヲ取ルヲ
竊ト謂フト、是レ其大意ナリ

掏摸

掏摸ハ、スリナリ、清律ニ、便ヲ擇テ物ヲ取ルヲ
掏ト曰ヒ、手ヲ以テ物ヲ取ルヲ摸ト曰フ、今ノ
白撞剪絡ノ類ノ如シ、間ニ乘ジテ、潜カニ取ル
竊盜ト異ナルヲナキナリ

獄囚 罪囚 罪人

清律ニ、囚トハ、拘禁スル罪犯ノ名ナリ、已ニ罪ニ招服シテ、鎖杻拘禁スル者、之ヲ獄囚ト謂ス。已ニ供ヲ審シ、詞ヲ取り、未ダ罪ニ招服セズシテ、散行拘禁スル者、之ヲ罪囚ト謂ス。罪ヲ犯シ、事發シ、已ニ拘ヘテ官ニ在リ、尚ホ未ダ審録セサル者、之ヲ罪人ト謂フ。又云久、罪人トハ、罪ヲ犯シ、而メ未ダ定擬ヲ經ハルノ稱ナリ、囚トハ、招ヲ以テ罪ヲ定メ、而メ未ダ論決ヲ經ザルノ

稱ナリ、又云久、凡ソ未ダ禁ニ在ラザルヲ、罪人ト曰ヒ、已ニ禁ニ在ルヲ囚ト曰フ、是レ通例ナリ

倉庫

同律ニ、糧ヲ收ムルヲ倉ト曰ヒ、財ヲ收ムルヲ庫ト曰フ

務場

同律ニ、物ヲ稅スルヲ務ト曰ヒ、物ヲ積ム場ト曰フ

局院

同律ニ、皆錢糧出入ノ所ニ係ル

宮殿

同律ニ、至尊ノ御スル所、燕幸ノ者ヲ以テスレバ、宮ト曰ヒ、御スル所、臨朝ノ者ヲ以テスレバ、殿ト曰フ

同居 各居 別居

同律ニ、同居トハ、財ヲ同ウシ、居ヲ共ニスル親屬ニテ、籍ノ同異ニ限ラズ、服ナキ者ト雖モ、亦

是ナリ、又云ク、同居トハ、一家産ヲ共ニスル者ヲ謂フナリ、各居ノ親屬トハ、門戸ヲ同ウセズ、財産ヲ共ニセザルヲ謂フ、同姓異姓ヲ分タズ、期親大功小功總麻ヨリ、以テ無服ノ親ニ至ルマテ、皆是ナリ

財ヲ同ウシ、居ヲ共ニスルハ、同シ屋内ニク
ラスモノ、トナリ、籍ハ人別ナリ、服ハ、イミ
ガ、リナリ、別居ハ、各居ニテ同居ノウラナ
リ、皆親屬相為容隠律ニ見ユ

得財 分賊

同律ニ、初メ事主ノ家ニ在テ、盗テ出ツル之ヲ
財ヲ得ルト謂フ、後同盗ノ者ト瓜分スル之ヲ
賊ヲ分ツト謂フ、得ルトハ是レ總テ得ルナリ、
分ツトハ是レ各分ツナリ、財ヲ得ズトハ事主
ノ財ヲ得ハルヲ謂フナリ、賊ヲ分タズトハ、已
ニ得ルノ賊ヲ分タハルヲ謂フナリ、又云ク、劫
取レテ去ル之ヲ得ルト謂ヒ、各分クテ已レニ
入ル、之ヲ賊ヲ分ツト謂フ

財賊

同律ニ、何物ニ拘ハラズ、事主ノ家ニ在ル、皆之
ヲ財ト謂ヒ、盗ノ手ニ入レバ、之ヲ賊ト謂フ

誣執

同律ニ、告言シテ實トラザルヲ誣ト曰フ、執ト
ハ、誣ル所ノ事ヲ指證スルナリ

押解人

同律ニ、官司差スル所ノ囚ヲ解スルノ役ナリ

和姦

刁姦 強姦

同律ニ、和姦ハ、男女情願和同シテ、私ニ姦スルヲ謂フナリ、刁姦ハ、姦夫姦婦ヲ刁誘シ、引テ別所ニ至リ、通姦スルヲ謂フ、亦和姦ナリ、強姦トハ、婦人其強暴ニ遭ヒ、拒カテ能ハズ、勢ヒ巴ムト得ガルニテ、媠心アルニ非ザルナリ

部民

同律ニ、凡ソ、管軍管民ノ官吏所部軍民ノ妻女ヲ姦スル者云々

詔旨 懿旨 令旨

同律ニ、天子ニ詔旨ト曰ヒ、皇后ニ懿旨ト曰ヒ、太子ニ令旨ト曰フ、皆言語ヲ謂フナリ

服辯

同律ニ、服トハ、心服スルナリ、辨トハ、辨理ナリ、當ラザレバ則チ辨ジ、當レバ則チ服ス、或ハ服シ、或ハ辨ズ、故ニ服辯ト曰フ

拘役

同律ニ、拘役ハ、拘管シテ役使スルナリ、反獄 反異 反坐

同律ニ、反獄若シ被禁ノ罪囚強テ恃テ衆ヲ恃
 之、兇ヲ逞フシテ奮撃シ、公然門ヲ奪ヒ、獄中ヨ
 リ反出シテ、而メ逃ニ在ル者云云、又云ク、囚内
 ヲリ反テ作シ、強テ恃テ、兇ヲ逞フシ、公然門ヲ
 奪ヒ、而メ出ルナリ、又云ク、反獄ハ、是レ囚獄卒
 ヲ欺キ、敵セザラシメ、兇ヲ行ヒ、打奪シテ出テ
 獄卒禁制スルヲ能ハサルナリ、若シ能ク禁制
 スレバ、亦是レ故縱ナリ、反異ハ、已ニ招承シ、罪
 ニ服シ、而メ又其原招ノ成案ニ反シ、以テ異テ

ルヲ致スナリ、反字ノ音義ハ、漢書平反ノ反
 ノ如シ、又云ク、已ニ成ルノ案ヲ翻改スル之ヲ
 反ト謂フ、官司ニ在テ、冤ヲ伸ベ、枉ヲ理シ、之ガ
 為メニ案ヲ翻ス者ヲ、平反ト為ス、罪囚情事ヲ
 變亂シ、翻案ヲ希圖スル者ヲ、反異ト為ス、事情
 ヲ變亂スルハ、即チ反異ノ注脚ナリ、虛無ノ事
 情ヲ捏造シテ、人罪ヲ告言スルヲ、誣告ト曰フ、
 人ヲ何罪ニ誣告スレバ、即チ其罪ヲ以テ、誣告
 ノ人ニ科スルヲ、反坐ト曰フ

反トハ、反覆ニテウラガヘルナリ、今掌ト
見ヘシモ、一ツ反セバ、手ノ甲トナル如ク、人
ノ氣ガ翻リテ、方向ヲ變ヘ、ウラギルスルナ
ナリ、翻幡モ同義ナリ、漢書王莽傳ニ、索盧恢
等、兵ヲ擧テ、城ニ反ス、註ニ、反、城トハ、城ニ據
テ、以テ反スルナリ、反異トハ、公事人罪人等
ノ、口ノカハルナリ、反坐トハ、已ガマウラ
ニ、其罪ヲキルナリ、人ヲ誣レバ、已レ反ニ
其誣タル罪ニ入ルナリ、天ニ向ツテ啗スル

意ナリ、本朝舊律鬪訟ノ註ニ、反坐罪ニ致ス
ハ、前人罪ニ入ル法ニ准ズ、又名例律ニ、反坐
及ビ之ニ罪ス、之ニ坐ス、與同罪ト稱スル者
ハ、止、其罪ニ坐ス、法曹至要鈔ニモ、人ヲ誣
告スル者ハ、其罪ヲ以テ、反坐スベシト云ヘ
ルモ、同義ナリ、物茂卿モ、反坐ハ、向キヲ落シ
タル罪ヲ引返シテ、其者ヲモ落スナリト云
ヘリ

脱監 越獄

同律ニ門ヨリ出ル者之ヲ脱監ト謂ヒ垣ヲ越
テ出ル者之ヲ越獄ト謂フ

枉法 不枉法 犯法

同律ニ明條アリ、是レ之ヲ法ト謂フ、法ニ出入
アル、是レ之ヲ枉ト謂フ、執法ノ人、有事人ノ財
ヲ受ケ、而メ理ニ逆ヒ、法ヲ曲ゲテ、枉断是非ス
ルヲ、枉法贓ト為ス、有事人ノ財ヲ受ルト雖モ、
而レ氏事、是非ニ於テ、枉ニ曲法ノ判断ナキ
ヲ、不枉法贓ト為ス、總テ皆事情ヲ判断スルヲ

指テ、而メ言フ、故ニ枉法不枉法ノ分アリ、其他
一切得應カラザルノ財ヲ受ル者ハ、止マ之ヲ
犯法ト謂ヒ、而メ之ヲ枉法ト謂ハズ、其人執法
ノ人ニ非ザルヲ以テ、法ノ操縦被ニ由ラザレ
バ、則チ坐スルニ、枉法ノ名ヲ以テスルヲ得ザ
ルナリ、又云ク、官吏事ニ因テ、人ノ財ヲ受ケ、而
メ本法ヲ按セス、偏曲断理スル者ヲ、枉法贓ト
為ス、人ノ財ヲ受ルトイハ、氏、而レ氏仍ホ、本法
ヲ按シ、公ヲ秉リ、断理スル者ヲ、不枉法贓ト為

枉法トハ、掟ラマケテ、法通りニサバカヌナ
リ、前漢淮南王傳、飢法モ同シ、物茂卿云久
公事人ノ賂ヲ受テ、依怙ナル掇キヲシタル
ヲ、枉法ト云ヒ、賂ハ受ケタレド、依怙ハセヌ
ヲ、不枉法ト云フ

期親
同律ニ、期親トハ、期年服ノ親ナリ
嫡母 繼母 慈母 養母 親母

同律ニ、妾ノ子、正妻ヲ謂テ、嫡母ト曰フ、父ノ後
妻ヲ繼母ト曰フ、所生母死シテ、父他ノ妾ヲシ
テ、撫養セシムレバ、慈母ト曰フ、已レノ身、子ナ
クシテ、同宗ノ子ヲ養ヘバ、養母ト曰フ、此レ皆
三年ノ服アルモノ、即チ親母ト同シキナリ
親母ハ、俗ニ云フ、實母ニテ、所謂本生母、所生
母ナリ
嫡孫承祖
同律ニ、嫡孫承祖トハ、長子死シテ、嫡長孫重キ

ヲ承ル者ヲ謂フ

父祖ノ跡式ヲ續グヲ承重ト云フ

嫡子 庶子

同律ニ、正妻ノ生ム所ヲ、嫡子ト曰フ、衆妾ノ生

ム所ヲ、庶子ト曰フ

嫡長ハ、本腹ノ總領ナリ、嫡次ハ、本腹ノ二番

目ナリ、庶長ハ、妾腹ノ總領ナリ、庶出ハ、總テ

妾腹ノ子ヲ謂フナリ

恩廕 難廕

同律ニ、特恩ニテ、其子孫ヲ廕スルヲ、恩廕ト曰
フ、祖父王事ニ歿シ、其後ヲ優恤スレバ、難廕ト
曰フ

恩生 任子

恩生ハ、父祖ノ官ニモ依ラズ、特恩ニテ、官ニ拜

スルナリ、任子ハ、所謂蔭子蔭孫ニテ、父祖ノ官

ニ依リテ、已レモ官ニ任ズルナリ、東漢獻帝紀

ニ、任子猶ホ質子ト謂フガ如シ

刑律

刑書ヲ律ト謂フハ前漢ノ刑法志ニ蕭何奏ノ
 法ヲ摺擬シ其時ニ宜シキ者ヲ取リ律九章ヲ
 作ル晉ノ刑法志ニ秦漢ノ舊律ハ魏ノ李悝ヨ
 リ起レリ管子ニ律トハ分ヲ定メ爭ヒヲ止ム
 ル所以ナリ正韻ニ律呂ハ萬法ノ出ル所故ニ
 法令之ヲ律ト謂フ物茂卿云久法律ノ律ハ音
 樂ノ十二律ヨリ出ヅ音樂ハ十二律ノ微細十
 ル曲調ニテ吟味スレバナリ律ノ名ハ漢ノ蕭
 何律九篇ヲ作りシヨリ起レリ

共犯

清律ニ共ニ罪ヲ犯ストハ數人共ニ此一罪ヲ
 犯スナリ

共ハ組合テナリ犯ハ旋ヲ破ルナリ
 規避

同律ニ規トハ窺ヒ求ル所アルノ意ニテ避ト
 ハ脱卸スル所アルノ謂ヒナリ賄賂ヲ求メ取
 ルヲ謂テ規ト曰ヒ罪名ヲ脱シ免ルハ又避ト
 曰フ規ハ窺ト同シ古字通用ス

物茂卿云久規避ハ、疏議瑣言管見等ニ諸説
アレド、必竟ハ、ヨケハヅシスル意ニテ、利ヲ
求メ、害ヲサクルナリ

平人 常人

同律ニ、平人トハ、平空無事ニ係リ、公事ト臺モ
相干セズ、亦名字ノ官ニ在ルナキ者、又云久
平人ハ、無罪ノ人ヲ謂フ
常人モ、亦平ノ人ナリ、向キノ者ニ對ヘタル
詞ナリ、常人盜ノ常人ハ、金ノ番人デナキ人

ナリ、人命律ノ下、私和人命ノ條ニ云フ、常人
ハ、親類デナキ人ナリ、軍人犯罪律ノ常人ハ、
武官デナキ人ナリ、常律ト云フモ、海陸軍刑
律ニ、ムカヘタル詞ナリ

科斂

同律ニ、人ニ分派シテ、之ヲ聚斂スルヲ、科斂ト
曰フ

圖賴

同律ニ、本ト人ト干ルナシ、而メ圖謀シテ、人

ニ頼リ、私ニ下ニ詐騙スル者、之ヲ圖頼ト謂フ
教唆

同律ニ、教トハ、導引ノ意ナリ、人本ト告ルヲ
知ラズ、而メ之ニ教令スルヲ謂フナリ、唆トハ、
哄誘ノ意ナリ、人本ト告ルヲ欲セザルニ、唆
シテ、之ヲ使シムルヲ謂フ

採生

同律ニ、生人ノ耳目臙膈ヲ取ルノ類ヲ謂フ
イキバモヲ取ル類ノヲナリ

原謀 原供

同律ニ、原謀ハ、先ヅ人ヲ殴ツノ意ヲ起シ、而メ
人ヲ殴ツノ謀ヲ造セシ者ヲ謂フナリ

原供ハ、罪人ノ申シ口ナリ

閏刑

閏ハ、閏月ノ閏ニテ、事ハ同シケレド、別ニ設テ
スルヲナリ

略賣

略ハ、ムタイニ連レユクヲニテ、和セザルヲ略

ト為ス又道ニ於テスルヲ略ト云フトイヘル
義ニテ、納得ヅクニテ、引出サヌヲ云フナリ、清
律ニ、略賣ノ略ハ、道ヲ以テ取ラサルヲ略ト曰
ヒ、威シ切スノ意アリ、方略ノ略トハ、同シカラ
ズ、方略ハ、計謀ナリ、誘引ナリ、而シテ、哄騙ノ意ヲ
兼有ス

折算

折ハ、準折ノ折ニテ直ス、ナリ、金ヲ永ニ直ス
か如シ、其物ニ換ヘ當ツル意ニテ、引換ルナリ

リ、明ノ當三錢ヲ折三トモ云ヒ、又折俸折米折
税折銀折乾ノ折ニテ、杜氏通典ノ米每斗折五
文ト云フ義ナリ、故ニ幾ツカケト差引スルナリ

ニモ云ヘリ

折半

ニツニワリ半ヲカクルナリ

折耗

欠米ナド、カンノタチヘルナリ

廢關

音樂ノ一段終ルナリ、関ハ終ルナリ

那移

那移ハ、那換ト同義ナリ、品字箋ニ、那又移ナリ
今移シ動カスヲ以テ之ヲ那移ト謂フ、居家必
用ニ、時ニ暫ク移シ用ル又那ト曰ク、原物ヲ變
改スル又換ト曰フ

賠償 備償

賠償ハ其代リニ物ヲ出ス、即チ償ナフナリ、字
彙ニ、古ハ此字ナク、俗ニ音裴賠償補ノ字ト作ス、

楊升菴外集ニモ、備ハ償補ナリ、音裴今賠償ニ作
ル、音義同フシテ、賠字ハ俗ナリ、備ニ從フヲ古

ト為ス、又丹鉛錄及ビ正字通ニモ見ヘタリ、續
日本紀ニ、法ニ依リ、贓ヲ備シ、家ニ尺布ナシト

見ヘ、又諸律抄ニモ見ユ

贓 贓

贓ハ、贓ノ略字ナリ、字書ニ此舛ナレサレド、明
清以來新字變舛往々ニ見ユ、船畧奶等ノ類是
ナリ、船ハ所謂船ノ中倉ナリ、畧ハ湊ナリ、奶ハ

字彙ニ、嬾音乃トアレバ、即チ嬾ノ省字ト為ス
ナルベシ、嬾娘嬾房等ノ類坐贓ハ新律七贓圖
ノ首ニ出ヅ字書ニ贓ハ吏賊ヲ受ルナリ、賊ハ
財ヲ以テ法ヲ枉ゲ相謝スルナリ、理ニアラズ
シテ之ヲ求ムルナリ、又賄ヲ納ルヌ、賄ト曰ス
通ジ天贓ニ作ル前漢尹賞傳ニ其羞耻貪汚贓
ニ坐スルヨリ甚シト見、タリ

該

正字通ニ、世俗借リテ該當ノ稱ト為ス、猶ホ宜

ト謂フガ如シ、凡ソ事應サニ此ノ如クナルベ
キヲ該ト曰フ、故ニアタルト訓ズ、該官ハ其掛
リ役員ナリ

贖

字書ニ、音神蜀切、財ヲ以テ罪ヲ救フルナリ、又
贖ナリトアリ、買戻シ受出ス、ナリ、故ニ取贖
又取戻スト訓ズ

牙保

牙保、牙郎ノ牙ハ本ト互市ノ互字ナルヲ唐人

平ニ作リシヨリ遂ニ誣リテ牙ニ作ルヨク較
耕録等ニ見ヘタリ

所由對同

所由トハ其科リノ内ニテモ重立チテ調ベタ
ル者ナリ對同トハ文案等ヲ讀合セスルナ

大辟

死刑ノナリ

訊杖

罪人罪ニ落チザル片擄問シテ絶スニ用ユル
ナリ

髡

頭髮ヲ去リテ坊主ニスルナリ

犯罪

犯ストハ掟ヲ破ルナリ

故失出入

故ハワザト惡事ヲスルナリ失ハ知ラズニ惡
事ヲスルナリトトリハツシナリ出ハ犯ニタル

罪ヲ犯サ又分ニトリナスナリハ犯サ又罪
ヲ犯シタルニシナスナリ

結正

其罪ノ捌キ違ヒテ捌キ直スナリ

原告 被告

原告ハ申出テタル概公事人ナリ被告ハ訴人
サレシ受公事人ナリ

故闘

清律ニ其人敢テ與ニ争ハズシテ之ヲ殺ス

故ト曰フ與ニ争フテ之ヲ殺ス闘ト曰フ

闘毆

同律ニ相争フヲ闘ト為シ相打ヲ毆ト為ス又
云ク闘トハ口論ニテ争論シ彼此扭結シテ未
カ搦撃ニ至ラカルナリ毆ハ則チ手足ヲ以テ
相打ツナリ又云ク兩人相對シテ毆又闘毆ト
曰フ

袒免

同律ニ凡ソ五服ノ外無服ノ親喪ニ遇ハバ則

子素衣ヲ服シ、布ヲ以テ頭ヲ纏フ、之ヲ袒免ト謂フ

刑罪 餘罪

同律ニ、刑ト餘ト、字義相近シ、而ノ此刑罪餘罪ノ義ハ、則チ同シカラズ、原定數ナク、輕重虛實ヲ將テ、折除計算シ、本罪ノ外ニ、扣抵スル者ヲ、刑罪ト曰ヒ、先ヅ定數アリ、得ル所ノ罪ヲ將テ、之ヲ按シテ計算シ、額數ノ外ニ溢ル、者ヲ、餘罪ト曰フ

引落シタル、餘分ノ殘リヲ云フナリ

犯禁 應禁

皆禁制ノ一ナリ

事主 本主

事主ハ盜賊ニ遇ヒシ家ノ主人ニテ、盜マレ主ナリ、本主モ、事主ト同義ニテ、人ニ賂ヲ送リタルモ、其贓ノ出所ノ本主ナリ

本犯 正犯

皆スグニ、其科人ヲ指テ云フ詞ナリ

見受業師

物茂卿云ク見ハ現ト同シ直傳ノ師ナリ

勾問 驗問

又云ク勾問ハ罪人ヲ呼ヨセテ吟味スルナリ
驗問ハ官府ヘ呼ヨセズニ其家ニ往テ穿鑿ス
ルナリ

踏勘 檢踏 磨勘 體察

又云ク踏勘檢踏ハ皆其場ヘ往テ調ブルナリ
磨勘ハ念ヲ入レテ調ベ體察ハ自身アルキテ

調ブルナリ

田奏

又云ク推問ノ勅アリテ夫レヨリ刑名ヲ定メ
テ奏聞スルヲ云フ

委官 權攝

清律ニ委官ハ專管ノ人ニ非ザルナリ物茂卿
云ク委官ハ其頭限ニテ檢使出役等當分ノ役
ヲ輕付ルナリ委ハ委任ノ委ナリ
又云ク權ハ假ナリ攝ハ兼役ナリ

準除 扣減 扣除

又云ク、準除ハ引下ヲ許スナリ、扣減扣除ハ當

分ヒカユルナリ

足色 成色

又云ク、足色ハ貨幣ノマゼ物ナキ、真吹ノ金ナ

リ、成色ハマゼ物アル金ナリ

革去

又云ク、糸々取り上ルナリ

捏券 虚捏

又云ク、捏券ハ作りゴトヲシテ、券聞スルナリ、
虚捏ハ、拵ヘゴトスルナリ

驀越

又云ク、越訴ノナリ

提點

又云ク、其官人ト云フナリ

發落

又云ク、埒ノ明クナリ

有事人

又云ク、トガ人ノ一ナリ

私下 他毎 好生 暗地 去處

又云ク、私下ハ内證ナリ、他毎ハ彼等ナリ、們ト

音通ズ、好生ハ甚ナリ、暗地ハ竊ナリ、去處ハ處

ナリ

截日

又云ク、罪ノ發シタル日ヨリ、俸ヲ引クナリ

濫設

又云ク、ヤタラニ、官員ヲ増スナリ

埋没

又云ク、金持ノ遺ヒニ知レヌナリ、ヒキオヒ

ナリ

簪剃 僧道

又云ク、簪ハ道士ニナルナリ、道士ハ有髮ニテ

道冠ヲカブルナリ、剃ハ僧ニナルナリ、僧道ハ

僧ト道士ナリ

典買 典賣

又云ク、典ハ金ノ替リニ物ヲ送ルナリ、典買ハ

質ニ取ルナリ、典賣ハ質ニ置クナリ

搜檢 盤獲

又云ク、搜檢ハ、フトコロナドヲサガシ、又ハ家
サガシスルナリ、盤獲ハ庫ノ出入ニヒトリ
ヒトリ改ムルナリ

一應 應議

又云ク、一應ハ一切ナリ、應議ハ夫レニ議スベ
キナリ

在逃

又云ク、逃ニ在ルトハ欠落ナリ

用強生事

又云ク、ムタイニ事ヲコシラヘルナリ

暗邀

又云ク、巧シテ人ノ心中ニ喰ヒヘルナリ

籍没 抄割

又云ク、皆闕所ニスルナリ

左使 聽使

又云ク、左使ハ、臣ガ君ニ指圖スル類ナリ、聽使

讀事必考

卷之上

一

ハ、許シテサスルナリ

朦朧 含糊

又云ク、朦朧ハ、知ラヌフリシマギラスナリ、含

糊ハ、分明ニセヌナリ

影射

又云ク、充ラヌ夫役ヲ、充ル分ニスルナリ、カタ

シロヲ、持ヘテ、マギラスナリ

良賤

又云ク、良ハ平人ナリ、賤ハ奴婢ナドノ普代者

ニスルナリ、從良ハ平人ニスルナリ

存留 當差

又云ク、存ハ命ヲ生シ、留ハ本所ニ留メオクナ

リ、當差ハ、村里ヘ返シ、夫役ニ割入レ、アツルナ

リ

除名 刺字

又云ク、除名ハ、分限帳ノ名ヲ除キ、平人ニスル

ナリ、刺字ハ、入レ墨ヲスルナリ

準行 行下 行移

又云久、準行ハ申立テ、聞届ケテ指圖スルナリ、
行下ハ、行移テ下司ヘ下スナリ、行移ハ、總シテ
官府ト官府トノ間、人文書ナリ

節次

度々ノナリ

監守

監臨ト、主守トナリ

相為容隠

又云久、惡事ヲ隠シテモ、罪ニナラヌ間柄ノモ

ノナリ

引送

又云久、罪人ヲ他所ヘカコヒ送リタルナリ

脚色

又云久、其人ノ姓名由緒郷里年ヲ記スナリ

關防 鈐束

又云久、關防ハ兼テ用心スルナリ、鈐束ハ法ヲ立

テ、下モ自由ニサセ又ナリ

老疾

又云久、年七十以上ニテ、廢疾ニナルヲ云フ

罪止 過ギズ

又云ク、罪止トハ、罪ヲ累ホテ、何程重ク當ラフ

トモ、ソレヨリ上ハセヌト云フナリ、過ギズ

トハ、ソレギリニスルナリ

凡 毆

又云ク、他人ガ他人ヲウツツナリ

禁 子

又云ク、牢屋ノモリ獄卒ナリ

結 攬

又云ク、公ケノ事ヲ受コムナリ

領 繫

又云ク、レバルナリ

妾 冒

又云ク、婚ヲ結ブ前ニミセ男ニセ女ヲスルナ

リ 不 過 割

又云ク、受取キラヌナリ

續律必釋 卷之止

五十一

轉借

又云ク、マタガシナリ

科斷論

科斷ハ、罪ヲワリツケ割クナリ、論ストハ、吟味

シテ、罪ヲ定ムルナリ

充從準

充ハ、アキ間へ満ツル意從ハ、其方へ付ルナリ

準ハ、アツルナリ

補我カ律ノ題目ニ合スルモノヲ、清律ノ諸

註ヨリ、援率シテ參考ニ具レ氏敢テ我律ノ

意ニ的當スト、否トハ、知ル所ニ非ザルナリ

犯罪得累減名例律上

此條ハ、犯罪共逃律ト、犯罪自首律ト、捕凶律ノ

知情藏匿罪人律ト、參看スベシ

無官犯罪

此條ハ、文武官公私罪ヲ犯ス兩條ト參看スベ

犯罪存留養親名例律下

此條ハ、法中ノ恩ナリ、當ニ老幼癡疾收贖律ト、
并ビニ看ルベシ、彼ハ優恩其身ニ及ビ、此ハ優
恩其親ニ及ブナリ
徒流入又犯罪
徒ハ、四年ニ過ルヲ得ズトハ、其法三流ニ本ヅ
ケバ、若シ重テ徒ヲ犯ス者、四年ニ過レバ、及テ
流ヨリ重シ、故ニ徒ハ四年ニ過ルヲ得ズ
老小癡疾收贖
此條ノ義ハ、老ヲ敬シ、幼ヲ慈シ、不成人ヲ矜ム

ヲ重シズ、法中ノ恩ナリ
犯罪時、老疾
此條ハ、上ノ老小癡疾ノ律ト參看スベシ、徒ハ
年限ヲ以テ論ズ、故ニ限内老疾扣算收贖ノ法
アリ、流罪ハ、但夕事發スルノ年ニ就テ論ズ、發
遣ノ後ハ、別ニ優恤ノ典ナシ、假令バ、六十九歳
ニ、流罪ヲ犯シ、計筭シテ發遣スルノ日、程期限
未ダ配所ニ到ラザルニ、已ニ七十歳ニ入ル如
キハ、上請スベキニ似タリ

讀律心解 卷之七 五

給没贓物

監守常人強竊等ノ贓本犯正法ヲ犯シ或ハ病
死スレバ家産ヲ以テ贖フベシ此自死スレバ
追徴スルヲ勿レト云フ律ヲ用ヒズ

犯罪自首

相容隠スル者告言スルトハ親屬平日各々罪
ヲ犯シ偶忿争ニ因テ遂ニ互ヒニ相訐キ發ス
ルヲ兄竊ニ財物ヲ盜シ弟私カニ偽印ヲ刻ス
ルヲ彼此告言スル如キモ皆罪ヲ免サル蓋シ

他人害ヲ受ルノ事ヲ告言シ自己害ヲ受ルノ
事ヲ告言スルニ非ザレバナリ

親屬代首スルハ猶ホ親愛スルノ意ニ出ヅ告
言スルハ念恨ニ因テ訐發スルナリ告言ノ本

念ハ代首スルト同ジカラザレ氏其相容ル
ノ誼ニ因テ罪ヲ免サルヲ得ル尊長ノ卑幼

ニ於ルハ勿論ナレ氏卑幼ノ尊長ニ於ルハ干
名犯罪律ニ照シテ罪ヲ問フ蓋シ名義ノ闕ス

ル所及テ倒行逆施シテ相容隠セザルヲ惡メ

バナリ
不實ハ罪重クシテ首輕ク不盡ハ賊多クシテ
首少ナシ、皆一事ヲ指テ言フ、若シ數事ヲ犯シ、
唯一事ヲ出首シテ、又不實不盡ノ罪アリ、別事
ヲ不實不盡ニ較ベテ重キ者アラバ、重キニ從
テ論ズ、其輕キヲ等シケレバ、論ズルヲ勿シ是
レニ罪俱發以重論律ノ各々等キ者ハ、一ニ從
テ科斷スルノ法ナリ、一事ヲ首シテ罪實ナラ
ズ、賊モ亦盡キザル者トハ、五十圓ヲ擄奪シテ

首シテ竊盜三十圓トナセバ、不實ノ罪重キ故
ニ、不實ニ照シテ罪ヲ科ス、又一百五十圓ヲ擄
奪シテ首シテ竊盜三十圓トナセバ、不盡ノ罪
重キ故ニ、不盡ニ照シテ罪ヲ科ス
人ノ告ント欲スルヲ知ルト、未ダ覺セズシテ
自首スルト、對首スベシ
二罪俱發以重論
前罪ヲ通計シテ、後數ニ充ルトハ、前後皆杖罪
徒罪ナラバ、扣算貼斷シ易ケレ氏、杖徒ノ不同

續律公考 卷之七

五

アレバ、收贖料依テ折算扣除スベシ、假令バ先
ニ杖七十ノ罪發シテ決スルノ後杖六十ノ科
發スレバ、合ヒテ徒一年トナル、徒一年ハ杖二
折シテ百二十ナリ、此ノ贖料一錢五分我カ
圓ノ内杖六十ノ四分五厘我カ圓ヲ除キ、三
百六日ノ贖料一錢五厘我カ圓一日ニ割
レバ、二毫九絲強我カ銀五厘我カニ核ル、已ニ決セシ七
十ヲ六十ニ抵去スレバ、十杖ヲ多決セリ、此ノ
一十ノ贖料七厘五毫我カ銀七我カ圓ヲ一日ニ毫九

絲強我カ銀五厘我カニ當レバ、凡ソ徒二十日ニ準ズ、
此ノ二十日ヲ除去シ、合貼シテ、十一箇月四
日我カ箇月八日我カヲ先キニ發シタル杖七十ト後ノ
杖六十ノ科トス、餘皆之ニ倣フ、之ヲ前罪ヲ通
計シテ、後數ニ充ツト云フ

犯罪共逃

犯罪自首ト、教誘人犯法ト、親屬相為容隠律ヲ
參看スベシ

此ノ兩節上ハ自ラ罪ヲ犯ス者下ハ是レ人ニ

因テ連累シテ、罪ニ致サル、者

犯罪共逃ハ、皆事已ニ發シテ、獲ヘラル、者ヲ

指テ言フ、未ダ發セズ、未ダ獲ヘラレズシテ、首

スレバ罪ヲ免サル、何ソ捕首ヲ待ン

公事失錯

此ノ條ハ、檢舉スレバ罪ヲ免シ、罪ヲ免サハル

ヲ以テ言フ、上ノ同僚、單ヘニ罪名已ニ發露ヲ

經テ、案ヲ成セル者ト同ジカラズ

自ラ覺舉スレバ自首ナリ、故ニ罪ヲ免ス、同僚

覺舉スレバ、是レ同時同事ニ、此案ヲ判署スル

者、一人ノ明ヲ以テ、同人ノ失ヲ免ス、故ニ覺舉

スレバ、亦邀免ヲ得ル

共犯罪分首從

首節ハ、概シテ首徒ノ法ヲ言ヒ、下分テ之ヲ言

フ、共ニ罪ヲ犯スハ、數人共ニ此一罪ヲ犯スヲ言

フ、共ニ謀リテ盜ヲ為シ、同ク行フテ、贓ヲ分ツ

ノ類、是ナリ、各々盜ミテ一家各々贓物ヲ得ル

如キハ、同科一主ノ罪ニ當ラズ、自ラ共犯ノ
 法ニ合ザレバナリ、彼此贓ヲ分ツハ共犯ト為
 スベシ、共謀為盜律内ニ共ニ謀リテ行ハサル
 者アリ、參看スベシ

犯罪事發在逃

此ノ條ハ、鞠問ヲ以テ獄ヲ為ス、逃ル、者アレ
 氏共ニ犯ス人審スベキヲ言フ、必シモ囚ヲ停
 メテ對ヲ待タズ
 官吏難ヲ避テ逃ル、如キハ、擅離職役律ニア

リ

親屬相為容隱

此ノ條ハ、犯罪自首ト、干名犯義ト、藏匿罪人ノ
 各條ニ參看スベシ
 劫囚律ニ私カニ囚ヲ放テバ、親屬トイヘ氏常
 人ト同ジト見ヘ、又與囚金刃律ニ解脫スベキ
 物ヲ囚ニ與フレバ、子孫奴婢雇人トイヘドモ、
 獄卒ニ罪一等ヲ減ズルノミト、此律ト異ナル
 者ハ、此律ハ犯罪ノ後未ダ發シテ官ニ到ラズ、

未グ曾テ入禁セズ或ハ家庭ニ藏匿シ或ハ他所ニ遊ケテ國法未ダ加ハラズ故ニ我レ其私意ヲ盡スヲ得ル彼ノ二律ハ己ニ禁ゼシ獄囚ナレバ法紀ノ在ル所之ヲ縱テバ法ヲ奸スナリ所謂門内ノ治ハ恩ヲ以テ義ヲ掩ク門外ノ治ハ義ヲ以テ恩ヲ斷ツナリ

本條別有罪名

本條別有罪名
 名例ハ諸律ノ凡例ニシテ本條ハ斷罪ノ正法ナリ律文簡要ナレバ重ネテ述ルヲ欲セズ凡

ソ本條缺テ載セザレバ皆名例ニ統歸ス然レ氏輕重ノ間ニ權衡アリ名例ノ例ヲ變ジテ自ラ罪名アル者又名例ニ拘ハラズ故ニ本條ト名例ト同ジカラザル者自ラ本條ニ依テ科斷ス假令バ名例ニハ共ニ罪ヲ犯セバ造意ヲ首トス刑律ニハ同ク謀リテ共ニ人ヲ毆チ死ニ致セバ手ヲ下シテ傷ノ重キ者ヲ重罪トシ原謀一等ヲ減ズル如キハ本條ニ依テ論ズ餘ハ類推スベシ

加減罪例
 各々加へ各々減スト稱スルハ、分別シテ之ヲ
 加減スルナリ、遞加遞減ト稱スルハ、次ヲ挨テ
 之ヲ加へ之ヲ減ズルナリ、各々遞加シ、各々遞
 減スト稱スルハ、各々其類ヲ分ケテ、其等ヲ遞
 次シテ、之ヲ加へ之ヲ減ズルナリ、又本罪ナク
 シテ、他人ノ罪ニ照シ、加重スル者アリ、誣告及
 坐ノ如キ是ナリ、本罪ナクシテ、他人ノ罪ニ照
 シ、減輕スル者アリ、失出失入ノ類是ナリ

加レバ、三流ヲ三等トシテ、漸ク加へ減ズレバ、
 三流ヲ一等トシテ一減ス、又罪ヲ加フルハ、流
 ニ止マリテ、死ニ至ラズ、本條死ニ加入スル者
 アレバ、絞アリテ斬ナク、減ズル片ハ、二死三流
 同シク一減トス、仁ノ至リト謂フベシ
 稱同罪
 財ヲ受テ、故サラニ縦ツハ、罪ヲ同フストハ、重
 キ一財ヲ受ルニアリ、故ニ律内賊ヲ計リ、正犯
 ノ罪ヨリ重ケレバ、重キニ從テ論ズ

卑幼私擅用財ノ管律

祖父ノ父ノ輩ヲ尊ト云ヒ、子ト孫ノ輩ヲ卑ト云フ、兄ノ輩ヲ長ト云ヒ、弟ノ輩ヲ幼ト云フ、家政ハ尊長ニ統ベ、家財ハ公物ニ係ル故ニ尊長公平ニ與ヘズ、卑幼私シニ、財物ヲ用ルノ罪相同ジ、少シモ加減セズ

監守自盜
不覺被盜ト、私借官物、那移出納等ノ律ト參看スベシ

常人盜

此ノ條ハ、監守盜ノ條ト并看シ、又各盜律ヲ參看スベシ

官物ハ、倉庫ヨリ盜ミ出スヲ言フ、若シ他所ニテ、官物タルヲ知ラズシテ盜メハ、竊盜法ニ依ル、官ノ畜産モ然リ

恐喝取財
恐喝シテ人ノ財ヲ取ル、此人ノ字、平人罪ナキ者ヲ指ス、人モト違法ノ事ナキニ憑空シテ財

物ヲ誑去ス之ヲ恐喝ト云フ、設シ違法ノ事アリ、人ニ財物ヲ挾去セラル、ハ、別ニ本律アリ、詐欺取財、詐欺ハ、恐喝ト事同シカラズ、恐喝ハ、人其勢ヒニ怵レテ、與ヘルナリ、詐欺ハ、計ヲ設ケ、人知ラズシテ、與ヘルナリ、恐喝ハ、強取ニ近シ、故ニ竊盜ニ一等ヲ加フ、詐欺ハ、竊取ニ近シ、故ニ竊盜ニ加等ナシ、略賣人

方略ヲ設ケテ、誘ヒ取テ、略賣ト云ヒ、略セラル、ハ、和同ト云ヒ、相誘フト云ヒ、相賣ト云ヒ、誘ハル、ハ、略誘ト云ヒ、和誘ト云フ、字面參錯一ナラズ、律文簡嚴ナレバ、文ヲ互ヒニシテ、意ヲ示スノ、夜無故入人家、故ナク人家ニ入ルハ、罪スベカラザルニ似タリ、盜律ノ内ニ附スルハ、其盜ニ近キ故ナリ、然レ氏、必ず黑夜、必ず故ナク、必ず家内、必ず登時

ニシテ、殺死スレバ論ズルナシ、前件ニ一モ
符セザルアレバ、別論ナリ
尤モ意味ノ重キハ、故ナキノ字ニ在リ

盜賊窩主

造意ト共謀ハ、此律ノ綱領ナリ、行フト行ハザ
ルト、賊ヲ分ツト賊ヲ分タザルハ、此律ノ條目
ナリ

共謀為盜

此條ト、窩主律ト、互ヒニ相發明レ意實ニ迫別

ナリ、窩主律ハ、統テ造意ト共謀ト、行ト不行ト、
分賊ト不分賊ノ罪ヲ論ズ、此ノ條ハ、專ラ共謀
行ハザルノ人ヲ言フ、又強ヲ謀リ竊ヲ行ヒ、竊
ヲ謀リ強ヲ行フ、謀ト行ト同ジカラザル者、始
テ此律ニ符合ス

謀殺人命律

謀殺ハ、心ニ謀ルト人ニ謀ルノ別アリ、獨リ心
ニ謀ルハ、同謀ノ人ナケレバ、故殺ト分チ難シ、
然レ氏謀狀明白ニシテ、或ハ兇器ヲ追出スレ

言律必傳 卷之上
バ、傷痕ト相符シ、或ハ用ユル所ノ毒藥ニ、據ド
コロアル等ヲ言フ、造意ハ、謀ヲ為スノ主ナリ、
加功ハ、殺ス時ニ在リ、意ノ字、謀字ヨリ者出ス、
功ノ字、殺ノ字ヨリ者出ス
人ヲ謀殺シテ、財物ヲ取ラザルハ、仇怨ニ報ユ
ルナリ、其財ヲ利スルニ非ラズ、故ニ首從ヲ分
ツ、謀殺シテ財ヲ取ルハ強盜ナリ、強盜ハ、首從
ヲ分タズ、砒霜ヲ與ヘテ死セザルモ、猶ホ謀殺
ノナリ、或ハ麻藥ヲ與ヘテ、一時昏迷セシメ

テ、財ヲ圖ルハ、強盜條内ノ一ニテ、謀殺ト涉ル
ナシ
殺死姦夫
巴ニ姦通ノ事アレバ、必ず防範ノ心アリ、卒然
往テ捉フレバ、反テ害セラル、ヲ恐ル、故ニ登
時殺死スルハ、特ニ擅殺ノ科ヲ許ス、夜無故入
人家律ノ、登時殺死スルモ意同シ、故ニ拘執ニ
就ケバ、擅殺スルヲ得ズ
殺一家三人

續律必傳 卷之上
六五

此ノ條ハ、謀殺ヲ指テ言フ

闘毆及故殺人

此ノ條ハ、闘毆律ト參看スベシ

金刃ハ、人ヲ殺スノ器ナレド、手足他物ト同キ

ハ、其罪ヲ犯スノ心ヲ論ズレハ、器械ニ拘ラザ

レバナリ、若シ本意人ヲ殺サント欲スレバ、金

刃ヲ用ヒザルモ、謀殺故殺ナリ、若シ本意人ヲ

殺スヲ欲セザレバ、金刃ヲ用ユルモ、亦タ闘

毆殺ナリ

清律故殺ノ條ニ、時ニ臨ミテ意アリ、殺サント

欲スルハ、人ノ知ル所ニ非ズト註セリ、此註ハ

故殺ノ鐵板註脚ナリ、若シ殺サント欲スルノ

意ヲ、人知ラバ是レ謀殺ナリ、註ノ時ニ臨ムト

ハ、闘毆共毆ノ時ナリ、故殺ノ心ハ、毆ク時ニ起

リ、故殺ノ事ハ、毆ク内ニアリ、故ニ本文闘毆ト、

共毆ノ間ニ在リ

屏去服食

他物ハ、砂石釘鐵ノ類毒藥モ亦是ナリ

戲殺傷人

人ヲ殺スニ堪タル事ヲ戲レトス、拳棒ヲ比較スルノ類ナリ

誤殺傷人

謀故殺ヲ行ヒテ傍人ヲ誤殺スレバ、故殺ヲ以テ論ズトハ、專ラ造意加功ノ首犯人ヲ指テ言

夫毆有罪妻妾

毆クハ、必シモ傷ツケズ、罵ルハ、憑據ナシ、狼戾

ノ夫其妻妾ヲ惡シ、往々毆死シテ毆罵セシト詐ル者、祖父母父母其子孫ヲ愛スルニ溺レテ附會スルアリ、此等ノ事、最モ詳慎スベシ

庸醫殺傷人

庸醫誤リテ人ヲ殺スモ、其心ヲ原キ、但シ過失ニ照シテ、收贖セシメ、醫ヲ行ハセザルノミ、若シ詐療シテ、故サラニ本方ニ違フハ、初メ必殺ノ意ナキモ、已ニ殺スベキ術ヲ施セバ、其心誅スベシ、故ニ財ヲ取レハ、盜ニシテ論ジ、因テ死

ニ致セバ、盗人ヲ殺スヲ以テ論ズ
詐ノ字、庸ノ字ト相及シ、故ノ字、誤ノ字ト相及
スタ、庸ナレバ、誤用ヲ致シ、タゞ詐ナレバ、能
ク故サラニ違フ

闘毆 闘毆律

互ヒニ爭フヲ、闘ト言ヒ、互ヒニ打ツヲ、毆ト言
フ、首節ハ、手足及ビ他物ニテ人ヲ毆テ、傷ツケ
傷ツケザル罪ヲ言フ
次節三節ハ、折傷スル輕重ノ別ヲ言フ、四節ハ、

傷ツケテ癡疾ニ至ル者、五節ハ、傷ツケテ、篤疾
ニ至ル者ヲ言フ、六節七節ハ、闘毆各節ノ通例
ナリ

宮内忿爭

重キヲ不敬ニ在リ、故ニ忿爭曲直ヲ問ハズ、并
ニ答罪、相毆ハ、傷ノ付クト付カザルヲ問ハズ、
并ニ杖罪

毆ニ祖父母父母

子孫出テ、人ノ後ヲ繼ギ、本生ノ祖父母父母ヲ

犯スハ、仍ホ子孫ニ依テ論ズ、女ノ出嫁スルモ、亦室ニ在ルト同シ

罵尊長

祖父家長及ビ諸尊長親屬ヲ罵レバ、倫理ヲ重シト為ス、故ニ其法嚴然トシテ、親ヲ告レバ罪ニ坐ス、故ニ恩義ノ掩ノ所、容隠シテ告ケザルモ之ヲ聽ス

罵有服尊長

姉妹出テ嫁シ、兄弟人ノ後タリト雖モ、降服其

罪亦同ジ、此兄弟ヲ罵ルノ律ハ、出テ嫁スルト人ノ後タル者ト、亦同論スベシ

承告不理 訴訟律

首節ハ、是レ狀ヲ告テ、理スルヲ受ザルノ正律次節ハ、罪亦斯ノ如キヲ云フ、三節ハ、同罪ヲ云フ、四節ハ、承告不理ニ依テ罪ヲ論ジ、五節ハ、隨ツテ告ル所ノ事、理輕重ヲ以テ其罪ニ坐ス、推廣シテ其義ヲ盡スナリ

誣告

首節ハ、是レ全ク無罪人ヲ誣ルノ法ヲ言フ
二節三節ハ、誣告中ノ事ヲ推廣メテ、未ダ備ラ
ザルヲ補フ 四節五節ハ、是レ有罪人ヲ誣告
スルノ法ヲ言フ 六節ハ、誣ル中ノ事、重キ
ヲ推廣メテ、未ダ備ラザルヲ補フ 七節ハ、二
人以上ヲ告ルニ、一ノ不實アル者ニ推及シテ
言フ 八節ハ、誣告彈事ヲ進呈シ、不實アル者
ニ推及シテ言フ 末節ハ、事已ニ問結シテ、妄
リニ辯訴スル者ヲ言フ、其大意ハ、全ク誣ル

者、及坐シテ刺罪ナシ、故ニ折杖ヲ煩サズ、重モ
キニ誣ル者ハ、必ず折杖シテ、刺罪ヲ得ル
官吏受財
律ニ明條アリ、是ヲ法ト云フ、法ニ出入アリ、是
ヲ枉ト云フ、執法ノ人、有事人ノ財ヲ受テ、理ニ
逆ヒ、法ヲ犯シ、是非ヲ枉斷スルヲ、枉法、贓ト為
シ、有事人ノ財ヲ受レ、氏事ノ是非ニ於テ、并ニ
曲法判断ナケレバ、不枉法ノ贓ト為ス、總テ皆
事情ヲ判断スルヲ指テ、云フ、故ニ枉法不枉法

讀律必傳

卷之六

ノ分チアリ、其他一切得ベカラザル財ヲ受ル
 者ハ、止之ヲ法ヲ犯スト云ヒ、之ヲ枉法トハ
 云ハズ、其人執法ノ人ニ非ズ、法ノ操縦彼レニ
 由ラザレハ、枉法ヲ以テ坐スルヲ得ズ、故ニ律
 内タゞ、枉法ヲ以テ論ズト云フモノ、此律ニ照
 シテ科断ス、此外枉法ニ準ジテ論ズルト、囑託
 求索誑騙恐嚇ノ諸條法ヲ曲ゲ、事情ヲ枉断ス
 ルニ非ザルモノ、各本條ニ從フテ、科断スベシ
 坐贓致罪

此ノ條等内等外ノ分チナシ、皆同科ナリ

以財請求

事有ノ二字、活看スベシ、蓋シ事有ルハ事ヲ犯
 スニ非ズ、本人罪アリ、財ヲ行ヒテ輕免ヲ求ム、
 是レ已レノ罪ヲ出スヲ求メテ、枉法ヲ得ルナ
 リ、本人罪ナシ、財ヲ行ヒテ誣害スルヲ求ム、是
 レ人ノ罪ヲ入ルニ求メ、枉法ヲ得ルナリ、難ヲ
 避ケ、易ニ就クノ文アルニ因リ、本人事ヲ犯ス
 ニ就テ言フ、若シ財ヲ行ヒテ人ヲ誣告シ、或ハ

全誣シ、或ハ輕ヲ誣ヒテ重シト為スモ、枉ル所ノ事ヲ論シテ、其輕重ヲ較ブベシ

家人求索

取受ノ二字、官吏受財ト坐贓致罪ヲ指テ言スズ、官吏事ニ因テ受ルハ、是レ有事情人行求ノ財ナリ、是レ無事人送與ノ財ナレバ、取ノ字ノ義ナシ、此取受ハ、下文謂フ取受求索スル所財物ヲ借貸スルナリト、義モ亦通ス

因公科斂

此ノ條專ラ科斂ノ罪ヲ論ジ、公ニ因ルト公ニ因ルニ非ザル、兩項ニ分ツ、公ニ因ル者公用ト已レニ入ルノ別アリ、其罪異ナリ、公ニ因ルニ非ザル者既ニ公用ナシ、自ラ已レニ入ルベシ然レ氏、已レニ入レ、人ニ送ルノ別アリ、罪同ジ對詔上書詐不以實、詐偽律命ヲ承テ、回奏スルヲ對ト云ヒ、勅命ヲ詔ト云ヒ、奏シテ公事ヲ行フベキヲ、奏事ト云ヒ、建言獻策ノ類ヲ、上書ト云フ

違令

令ハ禁制アリテ、罪名ナキモノ

獄囚脱監及反獄逃走

門ヨリ出ル者ヲ脱監ト云ヒ、垣ヲ踰テ出ル者

又越獄ト云フ

主守不覺失囚

此ノ條ハ脱監反獄ノ條ト是レ一事ナリ、彼レ

ハ專ラ囚ノ罪ヲ言ヒ、此レハ專ラ主守ノ罪ヲ

言フ

陵虐罪囚 斷獄律

毆傷ハ、陵虐中ノ事タ、陵虐ノ事多端ナレ、氏

律ニ毆傷ノ罪ノミヲ言フハ、傷ナキハ據ナケ

レバナリ、然レ氏、陵虐シテ傷ナキ者、豈論ゼガ

ルベケンヤ

出入罪

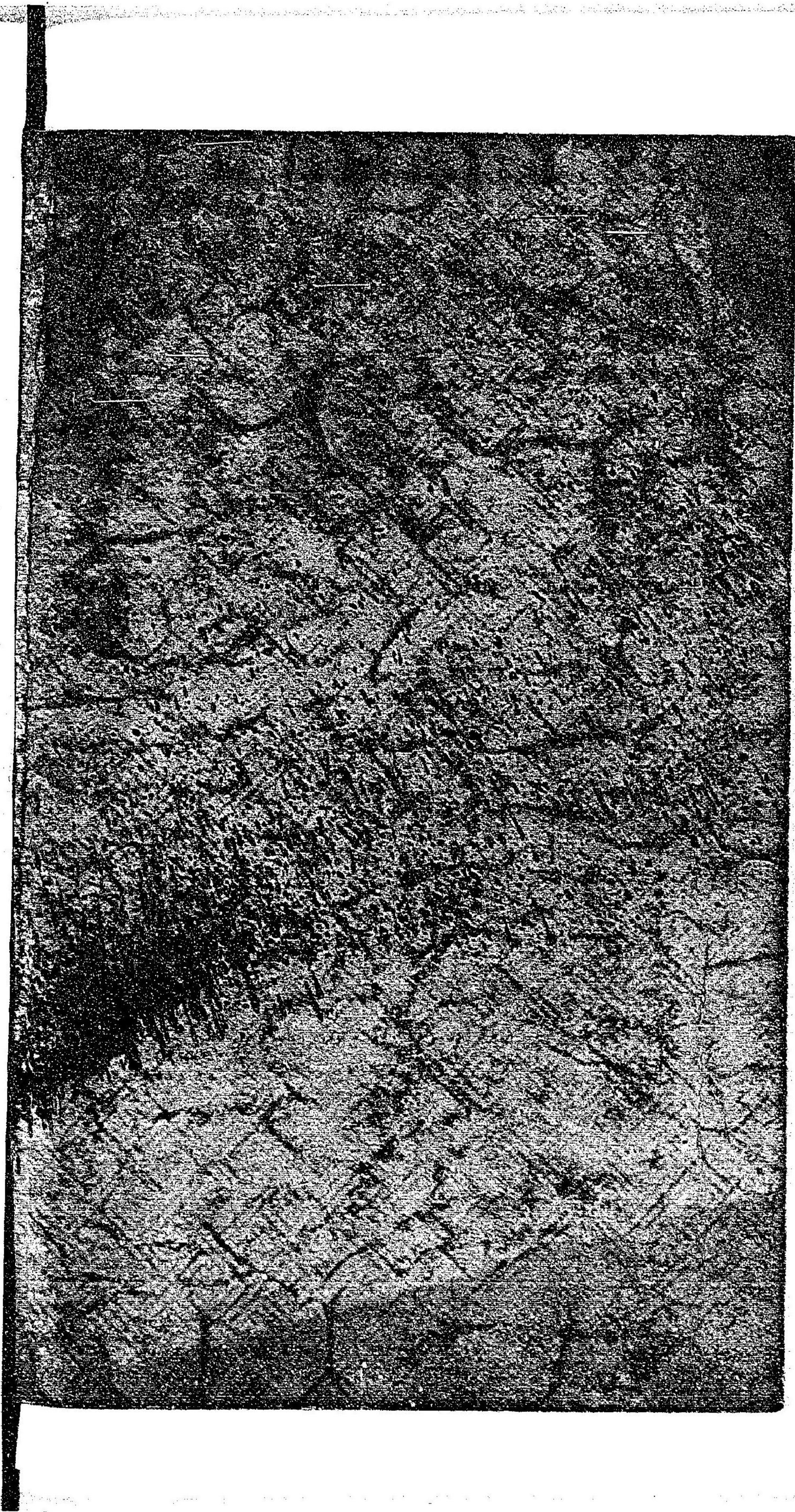
首節ハ、全ク出シ全ク入ルノ罪ヲ言ヒ、二節ハ

ハ、増輕減重ノ罪ヲ言ヒ、三節ハ、失出入ノ罪、全

出全入増輕減重ヲ包テ、内ニ在ルヲ言フ、四節

ハ又通^ツジテ上^カノ三節ヲ承^ツテ言フ

讀律必携卷之上



特39

796

036286-001-7

特39-796

読律必携

川澄 下枝/編

M6-8

BBP-1021

